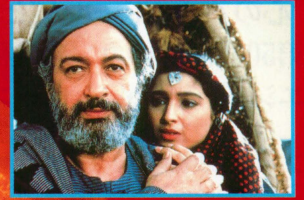


1997年カンヌ国際映画祭●第50回記念特別賞受賞
ユーセフ・シャヒーン監督作品

炎のアンダルシア

“心のバルムドール!”とカンヌを感動の嵐につつんだ傑作!



12世紀文明の華、アンダルシア
愛に、青春に燃える人々を
自由を抹殺する焚書の刑が襲う…
巨星シャヒーンが、歌で、踊りで
壮麗に綴りあげる叙事詩超大作!



Al
Massir
المسیر

フランス映画社配給
ハウ・シリーズ作品

監督・脚本=ユーセフ・シャヒーン/撮影=ムフスィン・ナスル/美術=ハーミド・ハムダーン/衣装=ナーヒド・ナスルッラー/音楽=カマール・タウィール、ヤフヤ・ムーギー、歌=ムハンマド・ムニール[サントラ=ビクター・エンタテインメント]、製作=アンベル・バルサン、カブレール・クーリー ●出演=ヌール・シホリアブ、ライラ・ウルクワイ、ムハンマド・ムニール、マフムード・フメイタ、ハニー・サラマ、ザフィア・エマリ、レジナ、インギー・アハサ、アフタッラー・マフムード ●エジプト・フランス合作エジプト映画/製作=MISR INTERNATIONAL FILMS/製作=OGNON PICTURES-FRANCE 2 CINEMA /協力=CANAL+, FONDS SUD, A.C.C.T., CNC

©OGNON PICTURES-MISR INTERNATIONAL FILMS-FRANCE CINEMA 2,1997

●「炎のアンダルシア」は人を幸福感で満たし、その幸福感を人と分かち合いたいと思わせる傑作だ。——仏[ル・モンド紙]

●12世紀のアンダルシアから時空を越えて、現代の我々の心の真ん中に命中する。——仏[リベラシオン紙]



“心のパルムドール!”と
第50回記念のカンヌが熱狂した
エジプトの巨星シャヒーンの感動の傑作

「炎のアンダルシア」は第50回を祝う1997年カンヌ国際映画祭で、記念特別賞を受賞したユーセフ・シャヒーン監督の最新作。今村昌平監督「うなぎ」とアッバス・キアロスタミ監督「桜桃の味」のパルムドール大賞にもいや増して、会場を埋める世界の映画人からの共感の惜しめない拍手が鳴りやまず、翌日の新聞各紙には“心のパルムドール (palme du coeur)!”の見出しが大きく躍った。

ユーセフ・シャヒーンは1926年エジプトのアレクサンドリア生まれ。監督・脚本・製作に俳優としても活躍し、たび重なる上映禁止に抗して自由をめざす映画作りを貫いてきたエジプト映画の巨星だ。「炎のアンダルシア」は、シャヒーン作品としてもエジプト映画としても、構想も製作規模も最大の作品だ。

舞台は12世紀、世界の文化の都アンダルシア(現在のスペイン南部)。自由を愛する哲学者アベロエスの思想が危険視され、焚書の運命にさらされる。

アベロエスと本を救おうとする人々の、いくつもの愛と冒険の物語が重層的に展開し、今日的なテーマを、歌あり、踊りあり、血沸き肉躍る映画の醍醐味いっぱい魅せる、壮麗な、型破りのエンターテインメントの傑作だ。



【スタッフ】監督=ユーセフ・シャヒーン、脚本=ユーセフ・シャヒーン、ハーリド・ユーセフ、撮影=ムフスィン・ナスル、美術=ハーミド・ハムダーン、衣装=ナーヒド・ナスルツェラー、小道具=アッバース・サービル、宝石=アッザ・ファフミー、メイクアップ=エヴリーヌ・ビヨット、ムスフィン・ファフミー、ヘアメイク=フランク・ペルトー、振付=ワリド・アウニー、編集=ラシダ・アブドゥッサラーム、録音=ガセル・ホリシード、監督補佐=ハーリド・ユーセフ、助監督=ナディア・カーミル、イーマーン・ハッダード、進行=ヒシャム・スレイマン、製作=アンペール・バルザン、ガブリエル・ターリー、音楽=カマル・タウィール、ヤフ・ムギー

●サントラ=ビクターエンターテインメント、歌=ムハンマド・ムニール、オーケストレーション=(Gamr el Hawa (恋は炎))ムハンマド・ヌーフ、(Alli Sotak (歌える限り))ターリク・アーキフ、歌詞=サーミフ・クドゥーシー、カウサル・ムスタファー、作曲=カマル・タウィール

ユーセフ・シャヒーン監督作品

炎のアンダルシア

97年カンヌ国際映画祭●第50回記念特別賞受賞

フランス映画社配給
BOW
パワシリース作品

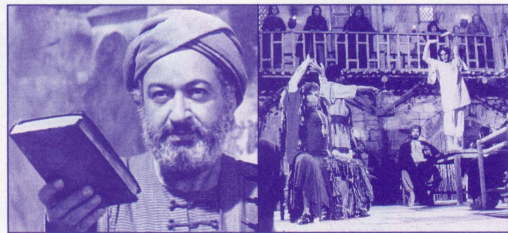
Al Massira
المسيرة

“思想には翼がある。
その羽ばたきは誰にも
止められない”
ユーセフ・シャヒーン

本を燃やしてそれを書いた人間を抹殺する焚書の刑。愛を忘れたイントレランス(不寛容)をテーマにしたアクチュアルそのものの内容は、カンヌの初上映から大きな反響を呼んだ。シャヒーン自身、前作『移民』(94)をイスラム原理主義者の訴えで上映禁止にされた経験がある。そして、今やそうしたイントレランスは世界中ではびこっているのではないかとの問いから「炎のアンダルシア」を着想した。しかし、その深いテーマを、シャヒーンは奇跡さながらに、鮮やかに、嬉しいまでの未曾有の叙事詩にしあげた。

「炎のアンダルシア」の出演者とスタッフは、エジプト映画演劇界を代表する面々だ。主演のアベロエスを演じるヌール・シェリーフをはじめとする名優たちのほか、特筆すべきはマヌエラ役のライラ・ウルウィーの出演と、酒好きの吟遊詩人マルワーン役のムハンマド・ムニールの出演で、二人とも、アラブ世界のスーパースターだ。そして注目は、カリフの次男アブダッラー役でデビューのハニー・サラマ。甘い魅力を厳しく鍛えられた演技で存分に発揮する。

音楽はスーパースターのムニールが歌う《恋は炎》《歌える限り》の名唱をはじめ、大オーケストラでこの映画の魅力をいっそう大きくしている。



【キャスト】アベロエス(イブン・ルシュド)=ヌール・シェリーフ、アベロエスの妻セイナブ=サフィーア・エマリ、アベロエスの娘サルマ=レジナ、亡命する青年ジョセフ=フアーリス・ラフマ、カリフ・マンヌール=マフムード・フメイダ、カリフの長男ナセル=ハーリド・ナバウィー、カリフの次男アブダッラー=ハニー・サラマ、マヌエラ=ライラ・ウルウィー、酒好きの歌手マルワーン=ムハンマド・ムニール、マヌエラの妹=インギー・アバザ、緑服のセクトの男ブルハーン=アブダッラー・マフムード、アミール(セクトの長)=マクダフィー・イドリース

●1997年エジプト・フランス合作エジプト映画/カラー、1×1.85、ドルビーステレオ/全8巻、3,702m、2時間15分/日本語字幕=山崎剛太郎、宣伝デザイン=小笠原正勝/制作=MISR INTERNATIONAL FILMS/製作=OGNON PICTURES-FRANCE 2 CINEMA/製作協力=CANAL+、FONDS SUD、A.C.C.T.、CNC/© OGNON PICTURES-MISR INTERNATIONALS-FILMS-FRANCE CINEMA 2,1997

8/29(土)より待望のロードショー!!

特別鑑賞券1500円
好評発売中!!

8/29(土)~9/4(金) 連日 12:20 2:50 5:20 7:50

9/5(土)~11(金) PM.6:30 (タ1回限り上映) 当日/一般1800円、学生1500円、

●劇場窓口でチケットをお求めの方に特製ポスタープレゼント! 中・小・シニア1000円

8/29(土)~9/4(金) AM.10:00 (1回限り) 『アレキサンドリアWHY?』(79年・エジプト)
●シャヒーン監督の自伝的青春映画の傑作!! 料金1200円均一(ただし、「炎のアンダルシア」のチケット/半券をお持ちの方は1000円)

シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」6番出口下車
大阪ドーム方向へ徒歩2分
TEL06-582-1416

地下鉄中央線		一本町
九条駅		
一大阪港	蒲田	6番出口
ブルー	ナルド	うどん
モーター	マクド	パチンコ
ビル	オコガ	アケ
シネ・ヌーヴォ	パチンコ	ケイ
大阪ドーム	パチンコ	ト